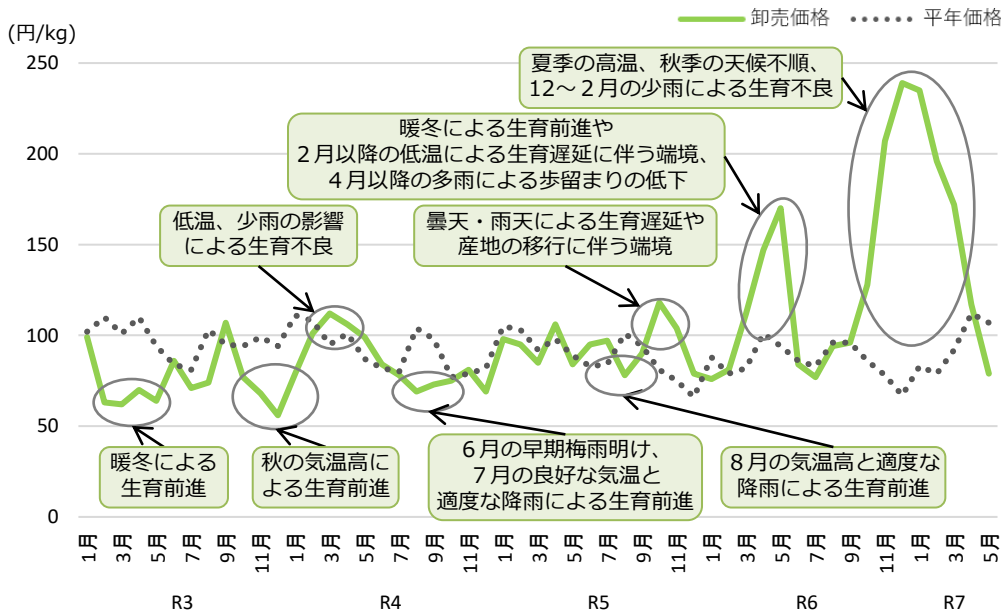


1 野菜の特性と価格変動について

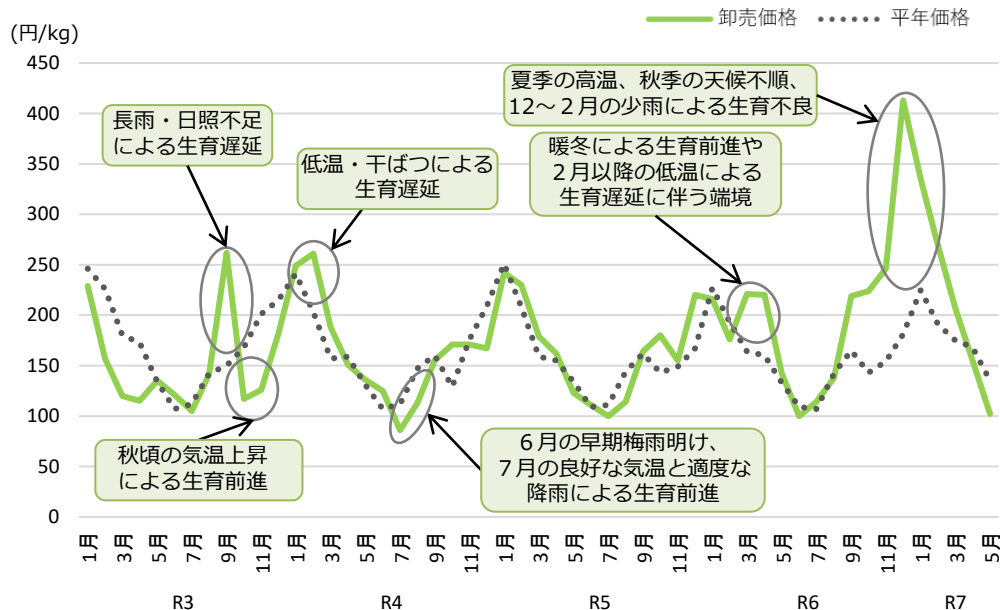
- 野菜は、天候によって作柄が変動しやすく保存性も乏しいため、供給量の変動に伴い価格が大幅に変動。
- また、品目転換が比較的容易であることから、価格変動に応じて作付面積も変動しやすく、これに伴って供給量も変動し、さらに価格が変動するといった特性。

【主要な野菜の卸売価格の推移（令和3年1月～令和7年5月）】

キャベツ

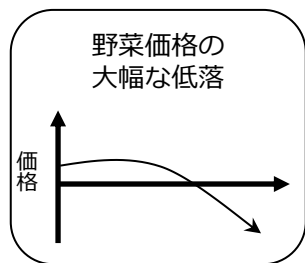


レタス



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」
注：平年価格は過去5か年の月別価格の平均値

【野菜の価格変動と作付面積への影響】

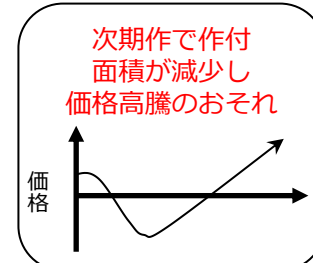


このような状況が継続すると



所得が確保できず
作付意欲が低下

作付意欲の低下が
広く見られると



2 主要な野菜の通年供給について

○ 我が国では、南北に長い日本列島の地域特性を活用し、季節によって産地を切り替えながら、産地リレーにより、野菜の安定供給を行っている。また、産地や時期によって栽培方法(露地栽培、施設栽培等)が異なる。

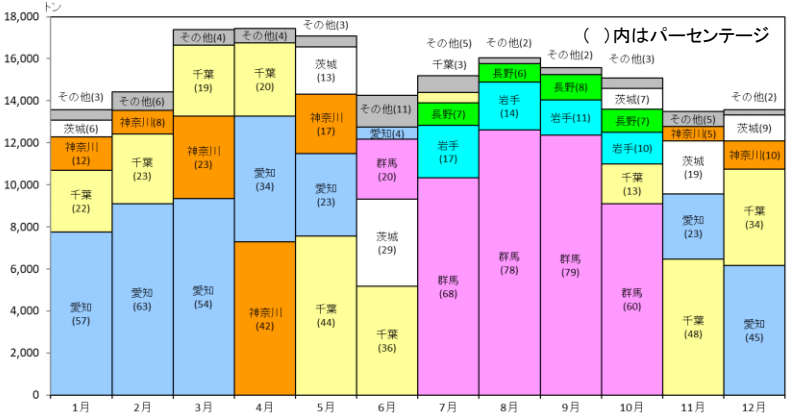
例① キャベツ(葉茎菜類)

【産地リレー (関東消費地向けのイメージ)】
春の主産地は、関東平野部中心(神奈川、千葉等)
夏秋の主産地は、関東高冷地中心(群馬等)
冬の主産地は、愛知県中心
産地が切り替わりながら消費地へ周年供給



【月別・産地別市場入荷実績 及び 時期別栽培方法】

<令和5年東京中央卸売市場>



上資料:農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料:令和5年東京都中央卸売市場年報

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地栽培												

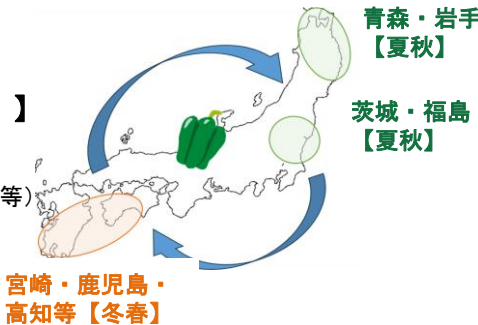
注:色付きの期間は収穫時期

<露地栽培>



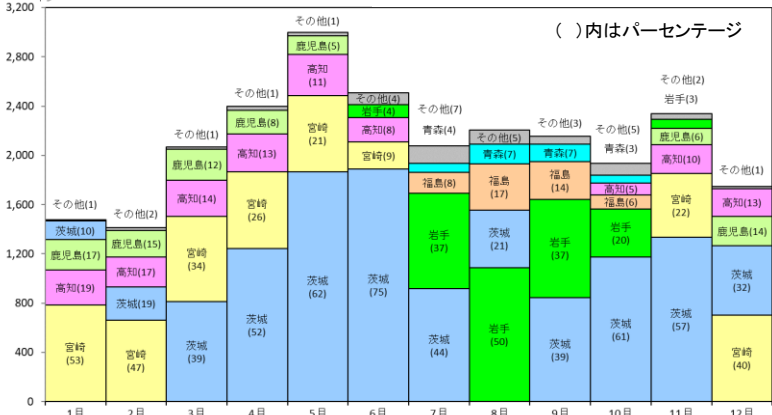
例② ピーマン(果菜類)

【産地リレー (関東消費地向けのイメージ)】
夏秋の主産地は、東日本中心(茨城、岩手等)
冬春の主産地は、西日本中心(宮崎、鹿児島、高知等)
産地が切り替わりながら消費地へ周年供給



【月別・産地別市場入荷実績 及び 時期別栽培方法】

<令和5年東京中央卸売市場>



上資料:農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料:令和5年東京都中央卸売市場年報

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地栽培												
トンネル栽培												
施設栽培												

注:色付きの期間は収穫時期

<露地栽培>



<トンネル栽培>



<施設栽培>



※露地栽培、トンネル栽培の写真提供は「農畜産業振興機構 野菜情報」より